



東京都多摩市立大松台小学校

芝生博物館へ

目次

- [**1 育て方**](#)
- [**2 しゅるい**](#)
- [**3 ルール**](#)
- [**4 土作り**](#)
- [**5 取り組みの説明**](#)
- [**6 Q&A集**](#)



学校の芝生



シバちゃん シバフくん



ペットボトル芝生

この芝生博物館は、東京都多摩市立大松台小学校の3年生のみんなが作りました。わたしたち、大松台小学校の3年生は、総合の勉強で芝生を校庭に育てています。なぜ芝生を育てているのかというと、わたしたちが行った遠足の場所「昭和記念公園」のように、校庭に芝生があったら、みんなが楽しく遊ぶことができるかな、と考えたからです。そこで、みんなで話し合って、芝生を育てることをがんばってきました。校庭に芝生を育てる場所をほって、芝生の種をまいて育てました。また、ペットボトルにも芝生の種をまいて育てるともしました。芝生を育てるのは大変でしたが、今では、芝生は、校庭でみんなが楽しく遊べる場所となっています。

では、なぜこんな「芝生博物館」をわだしたちは作ったのでしょうか。

それは、わたしたちが、芝生を元気に育てようと思って色々な本を調べたのですが、子どもむけの本があまりないので、子どもむけの資料があつたらいいなと思って、全国の人に芝生のことを知ってもらうために、この芝生博物館をつくりました。

夏休みが終わり、2学期の始めに、みんなで校庭の芝生の様子を見に行ったとき、あまり元気ではありませんでした。そこで、専門家の人に、自分たちの芝生を見に来てもらいました。そうしたら、校庭の土は育てる土に向いていない、ということを教えてもらいました。また、わたしたちが育てている芝生は、「西洋芝」で、「寒地型」なので、暑い夏には元気がないのは当たり前であることも教えてもらいました。そこで、もっと芝生のことにくわしくならないと芝生を元気にできない、とみんなで考えて、芝生のことを調べることにしました。

みんなが同じことを調べても意味がないので、4つのグループに分かれました。1つ目は、種類グループ、2つ目は育て方グループ、3つ目は土グループ、4つ目は遊び方のルールグループです。この4つのグループに分かれてそれぞれの目標でがんばって、芝生を育て上げました。「土壤改良（どじょうかいりょう）」と言って、土を作り直すこともやってみました。校庭の土がとても硬くて大変でしたが、それをやってからは、芝生が元気になってきました。エアレーションや水あげをしたりしてきれいな芝生の場所がだんだんできあがりました。新しく「暖地型芝生」を植えるための土作りには、お家の人们も手伝ってもらいました。全国の芝生を育てている学校の人たちにもいろいろと教えてもらいました。こういったことを一年間ずっとやってきて、校庭に楽しい「原っぱ」ができたのです。

こういう感じの内容が、この芝生博物館ではたくさん見られます。とっても面白く、「そなんだー」と、言うことが内容としてまとめられているので、ぜひ多くの人に見てもらいたいと思います。



芝生先生

総合的な学習
を終えた感想
のページへ



2006年7月の芝生



2007年3月の芝生

この「デジタル芝生博物館」を作るときに、島根大学附属小学校の3年生のみなさんに
いろいろアドバイスしてもらいました。ありがとうございました。